

文教厚生常任委員会

文教厚生
常任委員会

◎松枝 正浩 ○野村 和人 藤田 直仁 塩井川公子 山口 仁美 宮田 竜二
前島 広紀 有村 隆志 ◎委員長 ○副委員長

文教厚生常任委員会では、1件の陳情を継続審査し、5件の議案と3件の陳情を審査しました。

(陳情項目は
11ページ参照)

ここに注目! 陳情第2号を参考人を招致して 再審査した結果、不採択

誰もが安心して利用できる介護保険制度の充実のための霧島市独自の緊急施策を求める陳情書



宮田 竜二 議員

Q 遠隔地の訪問介護サービスを行う事業者へ各種加算申請できる制度があるが、実態はどうなっているのか。

A 参考人① 霧島地区なので15%加算しているが、採算はとれていない。
参考人② 本制度は知っているが、当法人では加算申請していない。
参考人③ 高齢のヘルパーさんは、遠隔地への運転を敬遠される。



前島 広紀 議員

Q 訪問介護事業者の大きな課題として、訪問介護職員の人材確保があると思うが、現状を教えてください。

A 参考人① 霧島地区での訪問介護の場合、ハローワークでも応募が無い。
参考人② 新採用が難しく、今いる職員を大事にすることに注力している。
参考人③ 真剣に介護に取り組む姿勢の職員が多く、環境を整えたい。

宮田 竜二 議員

反対討論

陳情者、執行部、参考人(訪問介護事業者)、国の動向など、総合的に審査した結果、訪問介護事業者への支援実態と相違している面もあり、報酬引き下げ分の遡及補填など、現実性がないことから、本陳情は不採択にすべきと考える。



参考人を招致しての審査

ここに注目!

陳情第4号を不採択し、修正意見書を国へ提出

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情について



有村 隆志 議員

Q 本市の場合、複式学級を解消したら、何人ぐらいの先生が必要になるのか。

A 複式学級が34クラスあるので、解消には相応数の先生が必要。

宮田 竜二 議員

反対討論

複式学級を解消することは現実的に無理である。特別支援学級の児童を交流学級でカウントする趣旨が、小規模校では適さないため、本陳情は不採択にして、意見書の内容修正が必要と考える。

各常任委員会に付託された主な案件について、審査した内容を掲載しています
結果については、10ページへ



予算常任委員会

委員会レポート

総務環境常任委員会

文教厚生常任委員会

産業建設常任委員会



予算常任委員会

予算常任委員会

◎久木田大和 ○川窪 幸治 松下 太葵 野村 和人 藤田 直仁 塩井川公子
松枝 正浩 木野田 誠 前島 広紀 有村 隆志 池田 綱雄 前川原正人

予算常任委員会では、2件の議案を審査しました。

補正予算(第1号) 4億3,751万4千円を可決

前川原 正人 議員

Q 合併特例債530億円が発行額上限だったが、今回の補正でいくらとなったのか。

A 当初予算時点で519億円程度であり、今回予算計上で約529億円の発行額になる。発行上限までは残り約1億円である。

ここに注目!

物価高騰対策で各事業所に補助 8,763万4千円

介護施設・障害者(児)施設・放課後児童クラブ・保育所等・医療機関等への補助

国分中央高校の空調費を全額市費負担へ 883万6千円



松下 太葵 議員

Q 対象となる空調機は現在何台あるのか。また、全て使用可能か。

A 普通教室分の21台であり、壊れているものはない。

総務環境常任委員会

総務環境
常任委員会

◎今吉 直樹 ○久木田大和 植山 太介 竹下 智行 川窪 幸治 鈴木てるみ
阿多 己清 飯屋 国治 前川原正人 ◎委員長 ○副委員長

ここに注目!

総務環境常任委員会では、9件の議案を審査しました。

大学生世代の子を持つ家庭に新たな所得控除制度

いわゆる「103万円の壁」による就業調整の問題に対応

大学生などの特定扶養親族について、所得が95万円以下の場合、親は43万円の所得控除を受けられる。所得が95万円を超えても123万円までは、所得に応じて段階的に控除額が決まる「特定親族特別控除」が新たに設けられた。



前川原 正人 議員

Q 今回の特別控除の制度により税収の変化はどうか。

A 現時点では試算はできていない。今現在、特別控除の対象となっていない市民に影響はあると思われるが、そういった方々の人数を把握することはかなり難しい。